



- 【特集1】2024年度版元提案説明会 実施報告
- 【特集2】図書館総合展2024フォーラム 開催報告
- 【特集3】OA広報素材「イイネ！」祭り 開催報告
- 【トピック】2024年度総会 開催予告

本号は、一部ページ（1,4,5）を一般公開しています

特集1 2024年度版元提案説明会 実施報告

版元提案説明会は、JUSTICE と出版社等が合意した提案内容について、版元から会員館へ直接説明を行うと共に、両者が直接対話できる場として毎年度開催しています。2024年度はオンライン配信を伴わない集合形式で行いました。プログラムは、版元による全体説明会とブース出展、転換契約や契約タイトル見直しに関するオプション企画、JUSTICE作業部会委員に相談・質問ができるJUSTICEヘルプデスク、電子リソースデータ共有サービスの説明会などで、多くの会員館のみなさまにご参加いただきました。

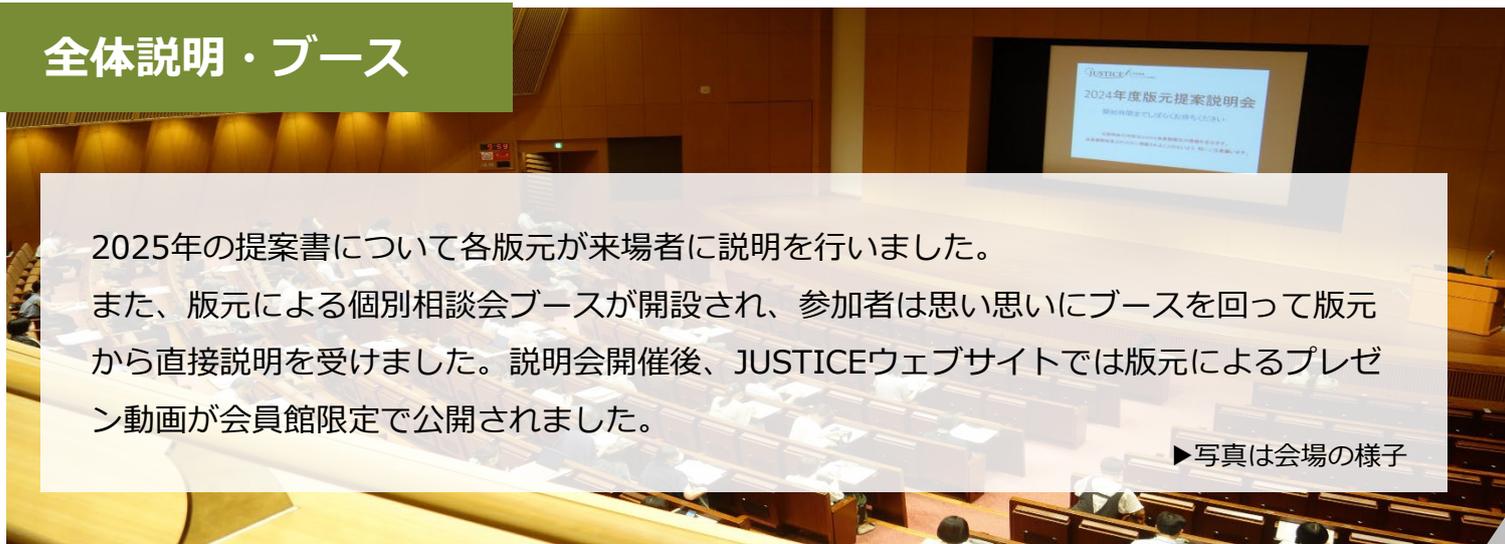
開催概要

- [日時] 2024年9月5日(木) ~ 2024年9月6日(金)
- [会場] 一橋大学一橋講堂 中会議場
- [参加者数] 会員館141館 243名、版元25社 153名

全体説明・ブース

2025年の提案書について各版元が来場者に説明を行いました。
また、版元による個別相談会ブースが開設され、参加者は思い思いにブースを回って版元から直接説明を受けました。説明会開催後、JUSTICEウェブサイトでは版元によるプレゼン動画が会員館限定で公開されました。

▶写真は会場の様子



会員館限定ページ

会員館限定ページ

11月6日(水)、JPCOAR主催・JUSTICE共催で、図書館総合展フォーラム「こう指す、こう来る、そこでこう指す：三手先の学術情報流通」が開催されました。

パネリストとして登壇したJUSTICE・JPCOARの若手委員らも含め、現地**108**名、オンライン**103**名が参加し、これからの学術情報流通を展望しました。

両団体関係者や外部有識者による学術情報に関する15問の「お題」に対して、パネリストと会場参加者は手持ちの札で、オンライン参加者はSlidoで、**[Yes]** **[No]** を回答しました。パネリストはそれらを踏まえ、活発な意見交換を行いました。また、11月18日(月)にはお題を深掘りする「感想戦」を実施し、オンラインで約**150**名が参加しました。

▼登壇者等 フォーラムの詳細はこちら
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/152>

▼「お題」に**[Yes]** **[No]**の札で回答する様子



▲登壇した若手委員ら



お題の一部と参加者の回答

あなたは
Yes? No?

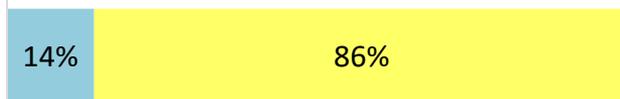
オープンアクセスは絶対的な善である



今般の即時OA政策によって日本の学会誌の姿は変わる



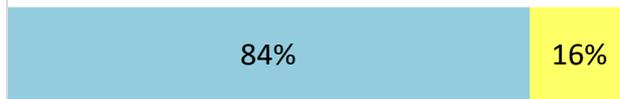
S2O (SUBSCRIBE TO OPEN) モデルは成功する



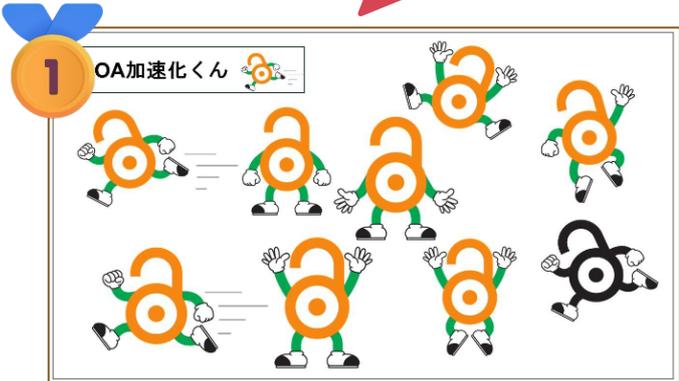
現在の、“大学ごとにひとつの機関リポジトリ”という体制を今後も継続すべきである



無料のオープンアクセス誌が増加しても、学術雑誌の価格高騰による大学財政の困難は解消されるとはいえない



大学等での広報活動方法の共有を目的に、JUSTICE・JPCOAR合同企画「OA広報素材「イイネ！」祭り」を開催しました。OA広報に関する応募作品は29件、オンライン投票（11月1日(金)～10日(日)）とともに、図書館総合展の会場でオンサイト投票（11月5日(火)～7日(木)）も行われました。「イイネ！」を多く集めた作品は11月22日(金)のオンライン表彰式で表彰されました。



大分大学 学術情報拠点

デザイン賞



政策研究大学院大学 石川愛さん

アイデア賞



北海道大学 匿名希望さん

2 ご存知ですか？ 公的資金による助成を受けた研究成果論文の即時OA義務化 (2025年度新規公募分より) の基本方針が発表されました。 義務化の対象は？ 対象の競争的研究費*を使用し、査読付きの電子ジャーナルに掲載された論文&Supplemental data... オープンアクセス化には主に2つの方法があります。 グリーンOA... ゴールドOA... 機関リポジトリOUKAなら無料でOA化... 大分大学 学術情報拠点 (図書館/医学図書館)

3 オープンアクセス(OA)のご案内と 大分大学学術情報リポジトリへの研究成果登録のお願い。 大分大学学術情報拠点 (図書館/医学図書館)

大分大学 学術情報拠点

JPCOAR委員長賞

公的資金による助成を受けた研究成果論文の即時オープンアクセス義務化の基本方針が発表されました。 1 OO大学リポジトリへの登録... 2 出版社へのAPC支払... 東京学芸大学 南雲修司さん

東京学芸大学 南雲修司さん

JUSTICE委員長賞

Elsevier, Springer Nature, Wiley, Oxford University Press logos. 論文のオープンアクセス出版を支援します! 名古屋大学では、研究者の方がオープンアクセス出版を容易かつ安価に行えるよう支援しています。 名古屋大学 学術情報拠点 オープンサイエンスプロジェクトチーム 広報サブチーム

名古屋大学 オープンサイエンスプロジェクトチーム 広報サブチーム

Topic 2024年度総会 開催予告

2024年度JUSTICE総会は2025年3月5日(水) 13:30 - 16:00 にオンラインで開催予定です。詳細は後日お知らせします。

ご意見・ご要望があればいつでもJUSTICE事務局 (justice-help@nii.ac.jp) までお寄せください。

https://contents.nii.ac.jp/justice ジャスミン第52号 2025年1月17日発行 発行人:JUSTICE運営委員会委員長 小陳 左和子 編集:JUSTICE広報作業部会

